

★大人の気持ち

六月二二日 脱原発市民会議かながわ&ハ
ーベストムーン」に参加させていただきまし
た 新横浜、オルタナティブ生活館)。お隣
が伊豆で期間を決めて乳幼児とお母さんの
保養活動をしている 保養ネットよこはま」
と福島現地 浪江ピース」という団体のプー
ス。 浪江ピース」の方に 311受け入れ
全国」のパンフレットを見ていただきました
▼「こんな保養の支援など全然、住民に届い
てないよ！」 たくさんコピーして私んここ
に訪ねてきなさい、学校で撒いてあげるか
ら！」との言葉。緊迫した彼女の環境からみ
れば私たちの取り組みもはがゆく見えるの
かもしれない▼ 東日本土壌ベクレル測定
プロジェクト」のブースも出ていたので、前
から疑問に思っていたことについて質問が
できました。神奈川県で活動するいろいろ
な方と交流・情報交換の輪ができました。昔
の知り合いとの再会もあり、その方は 福島
原発訴訟支援する会」の副代表だったり！▼
パネルディスカッションは満席、ライブも音
量イッパイ、外では飲み物に片手に私たちも
盛り上がっていると、隣のブースにいた 浪
江ピース」の女性が さあて、放射能まみれ
のどこへ帰るかあ」といって、私たちの脇を
通り抜け暗い中帰っていきました……。

たずねました、あの「まていの里」飯館村

タウ技研 (<http://www.taugiken.jp/tau/>) という会社
に検知器のことで電話したところ、社員の方から「飯館村
に測定に行くからいっしょにどうか」とお誘いいただきま
した。7月4日から一泊、5千円の検知器 (AIR COUNTER
S) をもって「カラッポの会」測定隊 (?) 3名でついて
いきました。

【案内は長谷川健一さん】

案内をしてくれたのは飯館村の長谷川健一さん。除染作
業中の地域は黒い袋が山積みで、無人の家は廃屋になりか
けているところもたくさん。線量の高いところなので目が
しょぼしょぼして、頭が重く、舌先に何かの味がしている。
計測する人たちは「たんぼぼ」「R-DAN」と合わせて5、
6台の機械でモニタリングポストの前、地上1m位で測定
しました。大体、それぞれの機械がモニタリングポストの
2倍を示していて、一番チープなうちのオムロン体温計み
たいな検知器も、ほかの機械と同じように2倍を示してい
ました。

一番高かった数値は確か農業高校のモニタリングポスト
の横の雑草の中です。写真の「オムロン検知器」を見て
ください。

きれいな山が入り組んだり、開けて田んぼだったりする
そのあたり、かつては公共の施設でいろんな人たちが利用
していただろう親しみやすい木造の施設は、全部作業員の
事務所になっています。

長谷川さんのお宅で奥さんに湧き水のおいしいお茶とお菓子をごちそうになりました。今回誘ってくれた人以外
は初対面で、参加者について何も知らなかったのですが、どっかで見たことのある人がいる…とずっと思っていた
ところ、なんと「原子力資料情報室」の伴共同代表だった。居間には菅元総理とツーショットの長谷川さんの写真



がありました。たずねて見えたそうです。

「カラッポのおうち」の宣伝を長谷川さんの奥様にしっかりしてきました。伊達の仮設に案内を配ってくださるとのこと（よかった！）。右二枚目写真は伊達の仮設です。（YS）

【貴重な体験】

除染した土が入った黒い袋が積まれた光景、人が住まない荒れた家を見て衝撃を受けました。それでも庭には花が美しく咲いていました。それを見たとき花は泣いているように思えました。

学校の校庭には猪の足跡。飼い主と離れた犬にも会いました。山となった黒い袋の周囲を「遮」と書かれた砂が入った袋が積みまっています。放射能を遮断する意味です。そして、新しいショベルカーやクレーン車が並んでいるのを見たとき、新たな雇用が生まれ、除染バブルという言葉が思い出されました。

文科省が設置したモニタリングポストは徹底的に除染され、土まで入れ替えているところです。そして、鉄板の上に置かれています。専門家の話ではガンマー線は遮断されるそうです。異常値を示すと住民にモニタリングの機械が故障していたと報じました。数値が低く出る機器を設置しなおしたのではないかと疑ってしまいました。

長谷川さんのお宅は、航空写真を拝見すると大規模の酪農家だったことがうかがえました。事故直後に飯舘村の放射能汚染の実態が判明したとき、役場はその事実も隠そうとしました。飯舘村の区長をされていた長谷川さんは3歳以下の子どもは母親と避難するように言われた時、兄弟全部を避難させるように。牛が放射能汚染され、国は殺処分を決めたとき、牛の命を守るため奮闘されました。

長谷川さんは原発事故のお陰で生活が一変し仕事も変わったと苦笑いされていました。（KA）

【6号線で帰る】

長谷川さんはドローンを購入、立入り禁止地区の焼却炉建設状況を上空から観察している姿をみせてくれました。どこまでも、なにごとも「までい」に。長谷川さんが働くときの変わらぬ態度……。 「までの里」を汚された人の強い思いを感じました。

帰りは国道6号線、放射線量が3とか4マイクロシーベルトの表示の下を浪江町、双葉町、富岡町、大熊町の表示を見ながら、除染作業をしないところ、遅れているところ、頭がぞわぞわとする中を帰りました。飯舘は除染作業が進んでいるので草刈りもされているけれど、こちらは、たまに見張りの人がいて、行き過ぎる車を見張っているだけ、草も伸び放題、町が死んでしまったような印象でした。国道6号線はぜひ通って見て欲しいと思います。（NY）



長瀬やなせ「カラッポのおうち」の会・事務局 ◆連絡電話（FAXも） 045-933-1792（ 管理人 杉村長世 ）

◆郵便振込口座 00250-9-136022 カラッポの会 ◆ゆう貯口座 10210-3511241 杉村葉子

◆e-mail karapponouti@gmail.com ◆ホームページ検索は「カラッポのおうち」で検索

※ 管理人への連絡はできるだけメールか郵便（226-0021 横浜市緑区北八朔町1842-4）にてお願いします。